NO.14

7月号

2011年7月1日発行

くるりのお便り

発行・編集
北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-1290
Fax 03-3910-1263
〒114-0016
東京都北区上中里1-41-10

よもやま話3 ～報奨金のおはなし～

集団回収報奨金について「東京都北区資源循環推進審議会（答申）」では「報奨金と言う金銭による誘因はなじまないが、それが一定のインセンティブの役割を果たしている」と指摘していますが、一定の役割どころか報奨金ゆえに集団回収が40年間も継続できたと言っても過言ではありません。

平成元年以降、回収業者が団体から古紙を買入れたのは、平成3年と平成20年のみ、平成9年から平成13年には報償金の一部を団体が業者に支払う、所謂、逆有償時代もありました。

「業者に支払ってまで集団回収しない」といってやめた団体もあれば、そんなときにも、資源が大切、町をきれいに、と回収を続けて下さった団体もありましたが、団体への報奨金がなければ回収業者そのものが集団回収から撤退していったことでしょう。

行政による集団回収助成の方法は東京23区だけをみても報奨金の額、業者助成の有無など様々な違いがあります。

北区の助成の歴史を振返ってみます。

※左表参照

（長田　輝明）

昭和48年	集団回収モデル滝野川地区で開始
	団体表彰・備品提供・2t車両1台提供
	軽車両による広報・狭路地からの古紙引出し
昭和59年	集団回収モデル事業廃止（2t車取止め）
平成 元年	回収団体報奨金 3.0円
平成 3年	回収団体報奨金 3.0円→6.0円に増額
平成 4年	集団回収事業 区に移行
平成 5年	回収団体報奨金 6.0円→7.0円に増額
平成 9年	回収団体報奨金 7.0円→6.5円に減額
平成12年	清掃事業が区に全面移管（軽車両取止め）
平成13年	回収団体報償金 6.5円→6.0円に減額
	現在に至る

くるりの組合員紹介コーナー

本年度理事に就任しました豊田と申します。

この度の東日本大震災により被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

今までは組合活動、エコー広場活動に従事して参りました。

私の場合皆さんと違って親兄弟が早くに亡くなった為、この仕事を引き継ぐ形になり女手一つで仕事をして参りました。組合に若手が加入して頂いてからは、力、アイデア共にとても助かっています。

組合活動では営業を多方面に展開していき、エコー広場活動は地域の住民とのコミュニケーションを尊重、重視していきたいと思っておりますので、今後共によろしくお願い致します。

（豊田）

豊田さんは組合で数少ない女性だよ！

重い物を持ったりすることが多い仕事だけど、豊田さんは大きなトラックを運転したり、とっても頼もしい人なんだ。

男の人が多い職場だけど、女性ならではの気配りも忘れない素敵な人なんだ。

美味しい物が大好きで、美味しい物があるお店や、新しく出来たお店はチェックしてるみたい。

いつも美味しい物を食べているという話を聞くけど、豊田さんはとってもスリムなんだ。

ぼくはダイエットしていても体重が増えたりするのに、どうしてだろう、うらやましいなぁ…。

（くるり）

編集後記

幼い頃、母が何処からか笹を貰ってきてくれて弟と二人で短冊にたくさんお願い事を書きました。

何を書いたか忘れてしまいましたが、ここまでの道のりで、僕はどれだけの願いを叶え、いくつの願いを諦めたのでしょうか？

「7月7日に雨が降ると天の川の水かさが増し、織姫と彦星が逢えなくなってしまう。だから7月7日は晴れるといいね」と小学校の先生に言われた時、僕は「宇宙に雨降らないじゃん」と心で呟く様な悲しい子でした。

もし今、幼き頃の僕の様に、夢もロマンスの欠片も無くした様な事を言う子がいたら「でも宇宙には星の雨が降るよ」と優しく言ってあげたいです。

諦めた願いが星の様にまた輝くかもしれないから。

…気持ち悪いですか？

七月の激しい雨に撃たれて頭を冷やします。

（サクマ　ダイスケ）

コラム

朝、とりあえずテレビをつける。痛いほどの色彩が、闇に慣れた目に飛び込む。何色かなんて識別もできないくらいだ。なので直ぐに消す。

遅刻してはまずいので、準備をすまし仕事に向かう。

すれ違う人や物が、何気なく視界に入る。

ようやく周りの色が認識できてきた頃、ふと考えてみた。世界は色に満ちている。

色とりどりすぎて目が痛いくらいだ。

痛いのは誰だって嫌だから、すぐに目をつぶる。

痛いことには関わりたくないもんだ。

でも実際、生きていく為にはそうはいかない。

それでも、痛いのは嫌だから、目を背けることが多い。

背けていたのは、見ることをしなかったのは、眩しすぎるからなのか。

もしくはその一つ一つが持つ、色の良さに気付いていないからなのか。

しかしながら、眩しくても気づかなくても目を開けておかねばならない。

当たり前のことだ。むしろ無意識にできる。

ただ、自分の持つ色がわからないから、この世界に広がる色の良さに気付けないのだ。

黒が好き。白も好き。赤も悪くない。いやいや、青だってなかなか。緑なんかもいい。黄色だって。

なんだ、どれもこれも汚い色なんてないじゃないか。

いらない色なんてないじゃないか。

全部綺麗じゃないか。

自分を取り囲む世界が綺麗だと気付いたのなら、あとは自分自身は何色かを知るだけだ。

しかし、自分で自分の色を見ることは難しい。

なら、貴方に見てもらおうか。

より綺麗な色になりたいから、沢山の人に見てもらおうか。

綺麗な色でないならば、貴方の持つ綺麗な色を貰えないだろうか。

綺麗な色を貰い、自分に足し続ければ、いつかきっとその色になれるんじゃないか？

そうならば、貰い損なう色がないよう、毎日沢山の色を見よう。

沢山の色が眩しいかもだけれども、意識して開けておこう。

そうして、僕は職場に着く。

目に映る眩しすぎる色とりどりの世界に向かって、目をこすりながらいう。

「・・寝坊してすいません。」

結局、遅刻したんかいっ！

（なおや☆マギカ）

集団回収・事業系回収のお問い合わせはこちらへ！
取り扱い品目
新聞　雑誌　段ボール
上質紙　古布（古着）
エコアクション21 認証・登録番号0003893
くるりのお便りの感想、投稿もお待ちしております！
北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-1290 ／ Fax 03-3910-1263
〒114-0016 東京都北区上中里1-41-10

集団回収のオススメ

北区から助成金が支払われます（kgあたり6円）
通常は月1回でしたが、週1回から回収いたします。
積み込み作業に手を貸せなくても、周知活動にご協力いただければOK！
どんな事でもお気軽にお問い合わせください。
いつでもご説明に伺います。